

関東農政局「ディスカバー^{むら}農山漁村の宝」選定地区取組概要

② 株式会社 もてぎプラザ【栃木県茂木町】

～6次産業を通じて雇用機会の拡大～

【取組の概要】

町では、昭和50年代後半、たばこ産業が衰退する中、たばこに代えてゆずの生産を開始。道の駅もてぎは、このゆずを平成17年から買い取り、平成24年から自前の農産物処理加工施設において商品化を開始。当初ゆずによる3商品の製造であったが、現在では、いちご、ブルーベリー、りんご、えごま、米、たまごなどを利用した53商品の製造まで拡大。

商品化により、農家収入の増加に寄与するとともに、雇用機会の増大にも大きく寄与。就業企業の少ない同町にとって、道の駅もてぎは、なくてはならない存在。

需要の多いバウムクーヘン(町内産米粉100%使用)の製造のため、今年、新工場を建設。インターネットによる販路拡大に取り組み、商品を通じた地域PRを行うことにより、町への来客者増による地域活性化も期待されている。

【活動の様子】



ゆず栽培の様子



特産品加工所「手づくり工房」



ゆず加工の様子



手づくり工房製造商品



バウム工房ゆずの木



バウムクーヘン商品